opusdei.org

芸術と神に没頭して

クリス・アフーバ氏は、芸術家で、ナイジェリアのエヌーグにある経営工科大学の講師でもある。彼はオプス・デイのスーパー・ヌメラリーである。

2009/08/12

私がオプス・デイを知ったのは、友人を通してでした。ある日、彼とドライブに出かけたとき、彼は急にこんな質問をしたのです。「クリス、君は"生活のプラン"をもっているのか?」。私はそんなことを考えても

聖ホセマリアの数々の教えの中で、 もっとも強烈に私の心を打ったとは は、人は誰でも日常の仕事の聖化に は、て聖人になれるというけました。 をしてなれるがであり、 はは深い感銘を受けました。 なりの情熱を注ぎました かなりの情熱を注ぎまになる がなりないかる は良いカトリック信者になる がなりないかる は良いかかる は良いない。 ともたまにありました。 ともたまにありました。 ころが仕事そのものが祈りであると言う教えは、私には全く新鮮なことであり、目を開かれる思いでした。 聖性という大きな理想が身近なものであることが分かったのです。私にもやっていけそうだと思ったのです。

以前、ある友人が彫刻の制作をもしてを人が彫刻の制作をで作るという。と語ったことではいるというできないないではないではいるではないのがあま。そととたき賞は働いいの気持ちいのがいるがにはいいの気持ちではいいがいるがにはいいました。ではいました。

しかし、私の仕事を見守る最大の鑑 賞者は神に他ならないと知るに至り ました。神は、レリーフの裏側、あるいは彫刻台の下にまで目を注いでおられるのです。細かい作業を積み上げ完成度を上げるという誰にも気付かれない仕事も、聖化には必要欠くべからざるものであることを学びました。

芸術活動はかなり体力を消耗させま す。どんな作品にも没頭し、しばし ば夢中になるあまり何時間もぶっ通 しで制作にとりかかることもあるほ どです。このような時にはささいな 邪魔に対してもいらだつことがあり ます。ここにもオプス・デイ創立者 の教えは、私にとって大きな助けと なっています。作業を妨げる出来事 の中にも神を見出さなければならな いことを学びました。私のいらだち を神に奉げることができるのです。 良い仕事をするためには、才能だけ ではなく、様々な徳を実践すること も必要です。仕事の邪魔になると 思っていた事柄は、今では神への捧 げ物になっています。そのような小さな犠牲を仕事中に捧げることで、 以前は仕事を台無しにしていた事柄が、人々のために自分を与え、仕事 をより良く果たす機会となっている のです。

クリス・アフーバ氏、ナイジェリ アのエヌーグ pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/yun-shu-toshen-nimei-tou-shite/(2025/12/19)